

淡水魚増殖試験 魚病対策事業

山根 恭道

県内の内水面養殖業における魚病被害を軽減するため、魚病検査・分離病原菌の薬剤感受性検査等を行った。そして、その治療・対策方法並びに水産用医薬品の適正使用等について指導した。

◎ 魚病の検査方法

魚病検査は養殖漁業者等による持込み、及び現地調査により得た検体魚について、聞き取り、魚体外部・内部の肉眼観察及び検鏡観察と細菌分離について行なった。分離菌の薬剤感受性検査は魚病検査により分離された菌について、必要によりディスク法により実施した。

1. 防疫対策定期パトロール

表1に示すように各増養殖経営体を巡回し、飼育管理指導、魚病発生状況調査等を行なった。

表1 防疫対策定期パトロール

年 月 日	実施地域	内 容
5. 4. 14	三刀屋町	アユ 飼育管理, 魚病発生状況調査
5. 20	頓原町・吉田村	ヤマメ "
6. 16	石見町・瑞穂町	ヤマメ "
7. 28	赤来町・邑智町	ヤマメ "
8. 19	金城町・匹見町	ヤマメ "
9. 28	柿木村・六日市町	ヤマメ "
10. 26	出雲市	キンギョ "
11. 25	江津市	アユ "
12. 16	江津市	アユ "
6. 1. 26	江津市	アユ "

2. 魚病発生時の緊急対策

表2に示す様に各増養殖経営体に発生した魚病の同定、対策指導を行なった。

表2 魚病発生時の緊急対策

年 月 日	実施地域	内 容
5. 4. 7	三刀屋町	ア ユ ビブリオ病 抗菌剤投与(ジュンマイシン)
4. 15	三刀屋町	ア ユ ビブリオ病 餌止め
4. 20	三刀屋町	ア ユ ビブリオ病 注水量の改善
5. 13	三刀屋町	コ イ ウオジラミ 殺虫剤(ディプテレックス)散布
5. 25	赤来町	ヤマメ セッソウ病 抗菌剤投与(オキシリン酸)
6. 11	邑智町	ヤマメ 細菌性鰓病 食塩浴・抗菌剤投与(オキシリン酸)
6. 18	赤来町	ヤマメ セッソウ病 抗菌剤投与で効果なし・注水量の改善
6. 23	斐川町	コ イ 白雲症 抗菌剤投与(オキシリン酸)
7. 9	斐川町	キンギョ カラムナリス病 抗菌剤投与(オキシリン酸)
7. 12	松江市	マハゼ 真菌性肉芽腫症
7. 20	金城町	ヤマメ ビブリオ病 抗菌剤投与(スルファモキサツ)
7. 22	匹見町	ヤマメ セッソウ病 抗菌剤投与(オキシリン酸)
8. 10	益田市	ア ユ 冷水病
8. 24	平田市	キンギョ カラムナリス病 抗菌剤投与(オキシリン酸)
9. 8	羽須美村	ドジョウ ガス病 注水方法の改善
9. 8	〃	ヤマメ 細菌性鰓病 食塩浴(3%…5分)
9. 25	大東町	コ イ カラムナリス病 抗菌剤投与(オキシリン酸)
10. 14	柿木村	ヤマメ セッソウ病 抗菌剤投与(オキシリン酸)
10. 27	邑智町	ヤマメ セッソウ病 抗菌剤投与(塩酸オキシテトラサイクリン)
10. 28	大東町	キンギョ カラムナリス病 抗菌剤投与(オキシリン酸)
11. 26	大東町	コ イ カラムナリス病 抗菌剤の効果なし(水温低下のため隠れず)
6. 1. 25	瑞穂町	ヤマメ ビブリオ病 抗菌剤投与(塩酸オキシテトラサイクリン)
2. 9	三刀屋町	コ イ 白点病 水温を25℃に上昇
3. 4	瑞穂町	ヤマメ ビブリオ病 抗菌剤投与(塩酸オキシテトラサイクリン)
3. 17	柿木村	ヤマメ セッソウ病 抗菌剤投与(オキシリン酸)

3. 魚病発生防止対策

ア. 養殖場の定期観測

表3に示す様に平成5年4月～平成6年1月にアユ種苗生産施設の水質調査を行なったので、その結果を表4に示した。

表3 養殖場の定期観測

年月日	実施地域	内 容
5. 4. 7	三刀屋町	水温, PH, SS, DO 細菌検査
4. 15	三刀屋町	
12. 7	江津市	
6. 1. 10	”	

表4 アユ種苗生産施設の水質結果

平成5年4月7日 (斐伊川漁協中間育成場)

水槽NO	水温(℃)	PH	DO(ppm)	DO(%)	CL-(‰)	普通	BTB
1	16.3	7.1	7.6	76	0		
2	16.1	7.2	7.4	73	0		
3	16.1	7.1	7.4	73	0		
4							
5	16.0	7.2	7.5	74	0		
6	16.0	7.1	7.3	72	0		

平成5年4月15日 (斐伊川漁協中間育成場)

水槽NO	水温(℃)	PH	DO(ppm)	DO(%)	CL-(‰)	普通	BTB
1	16.0	7.3	7.3	79	0		
2	16.3	7.1	7.4	79	0		
3	15.9	7.1	7.6	79	0		
4							
5	16.0	7.2	7.7	80	0		
6	16.0	7.1	7.5	79	0		

平成5年12月7日 (江川アユ種苗センター)

水槽NO	水温(℃)	PH	DO(ppm)	DO(%)	CL-(‰)	普通	BTB
養成3	16.0	7.9	7.1	75	28.7	-	-
4	15.8	7.9	6.5	69	28.3	+	-
丸1	16.0	7.4	7.2	77	2.5	-	-
2	16.3	7.6	7.1	76	16.5	-	-
3	16.5	7.3	7.7	80	27.9	+	-
4	16.3	7.5	7.4	77	19.8	-	-
淡水	17.2	6.8	6.7	60	2.6	-	-

平成6年1月10日 (江川アユ種苗センター)

水槽NO	水温(℃)	PH	DO(ppm)	DO(%)	CL-(%)	普通	BTB
養成3	15.5	7.9	8.8	95	23.1	-	-
4	15.2	7.9	7.5	88	21.6	-	-
丸1	14.8	7.8	9.8	97	4.5	-	-
2	14.3	7.6	8.2	93	12.3	-	-
3	14.5	7.8	7.6	90	25.1	-	-
4	14.9	7.2	8.4	93	15.8	+	-
淡水	15.2	6.5	6.7	65	2.6	-	-

イ. 魚病情報の収集、伝達

魚病発生時の緊急対策における病魚の収集とその検査結果等の伝達を行なった。その他病魚に対する一般的な相談や医薬品の使用に対する相談を行なった。

表5 魚病情報の収集、伝達

	魚病情報の種類	件数	情報源と伝達先
収集	魚病相談(照会)	37	養殖漁業者
	(検査依頼)	21	〃
伝達	魚病診断結果及び予防治療対策	36	〃

4. 医薬品適正使用対策

巡回指導時に医薬品の適正使用に関する知識を普及した。10月出雲市の出雲ナンキン保存会の養殖業者10名を集め池や器具の消毒方法、魚病発生の早期発見方法と対策および投薬方法について講習会を行なった。また、12月にはヤマメ養殖業者を対象に採卵後の消毒、および医薬品の適正な使用を含めた魚病講習会を行なった。

表6 医薬品適正使用対策

年月日	実施地	対象者(人数)	実施内容
5. 10. 7	出雲市	キングョ業者 10	養魚指導を併せた水産用医薬品の適正な使用方法について指導。
5. 12. 8	全県	ヤマメ養殖業者 16	